

ユリノキ
の町から

風の便り 79

2025 (令和7) /5/1.
八千代・ゆりのき台 辻 秀幸

ご機嫌長屋 その2

サクラが咲いたチューリップも咲いた。

オオシマザクラ (被子植物 真正双子葉植物類 バラ類 バラ目 バラ科 サクラ属) 2025/4/7~13.



この長屋に来て3回目の春、やっと窓辺のサクラが咲いた。オオシマザクラと認定。

参照: 74号

長屋のシンボルとなることを期待して植えられたが、病んだか折れたかして残された切り株から再生し、体力をつけて花を咲かせるに至った、と推理した。

← 花序柄あり

花柱は無毛 →



咲いたのは探さなければならな

いほどの数だったが、来年は雪洞飾って莫座敷いて花見の宴を開催できるかなと期待する。しかし、賑わいを喜んでいるようなソメイヨシノと違って、喧噪から一歩二歩離れて冷めた目で眺めているようなこの花にどんちゃん騒ぎは似合わない。

造園業を営む同級生が、毎年、庭のサクラが咲くと仲間を集めて宴を催していた。酒池肉林飲めや歌えのどんちゃん騒ぎ。市川高校で紳士となった我らは酔っても則を越えないで楽しむ術を身につけた曲者揃い。特に曲者の主催者は酒厳禁の闘病

中。入院して後の春、覚悟した彼は親友数人と一泊の旅をした。医者や家族を無理やり説得してのことだった。そしてまもなく覚悟通りとなった。

ところで、肝心のサクラはなんだったのか。記憶の中ではいつも満開、散り始め。

オランダミミナグサ (被子植物 真正双子葉類 コア真正双子葉類 ナデシコ目 ナデシコ科 ミミナグサ属)



建物の壁のそばが好き。私のように、何かに誰かに頼ることで安心できる性格なのだろう。

中学生の頃から下半身が発達しなくなって標準より小さく育った私は、スポーツで活躍する小柄な選手に注目する。テレビのドラマやバラエティーでよく見る人が小柄であると知ることがある。とたんに親しみを感じる。メガネのタレントも鼻負してしまふ。

この花は直径1センチほどなので、小さいなあと言うほどではないが、優れたデザインだ。

2024/4/2.

2025/4/5.

チューリップ (被子植物 単子葉類 ユリ目 ユリ科 チューリップ属)

背が低くつぼみも小さかったので、栄養不足のせいだ、いじけた花が咲くだろうと予測した。

昨年、宅地にされた畑の隅で、栄養たっぷりに咲いていたのを幾つかもらって植えておいたものだ。午後の陽を浴びて開いた花は予想に反してそれなりに見事であった。生まれながらの花界のスターだ。「私は花ッ」と叫んでいるような存在感がある。長屋前には花も緑もない。黄色いチューリップ1輪は目立つ。新聞おじさん、郵便おじさんの目を楽しませてくれたと思いたい。



ツタハウンラン (被子植物 真正双子葉類 キク類 シン類 シン目 オオバコ科 キンギョソウ連 ツタハウンラン属)

2024/4/26.

石垣の隙間が好きな植物。壁際が好きな種類は、寄りかかれて楽だからだろう、とな



んとなく気持ちが分かるが、石垣の隙間となると何で? と思ってしまふ。競争相手が少ない場所でしか生きられなかった、とも、厳



しい場所でも生きる強さを持つ、とも考えられる。園芸品種として持ち込まれたが、路傍でよく見かけるほどに野生化した。

オウタチカタバミ (タチカタバミ) (被子植物 真正双子葉類 コア真正双子葉類 バラ類 真正バラ類 カタバミ目 カタバミ科 カタバミ属) 2024/4/18, 28.

ユリを大きくした白い花があるが、名前が出てこない。映画の題名だ。度忘れというのか、記憶の盲点なのか。他にもあるが度忘れで思い出せない。そうだカサブランカだ。



原っぱや道端でお馴染みのカタバミとシロツメクサもそれに近い。あれだと分かるが、「あれ」がどちらなのか悩む。この機会に記憶の引き出しに素直に納まってくれるといいのだが。

